

# 大阪経済の情勢

(2022年4月指標を中心に)

2022年6月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

## 「大阪経済は、持ち直しの動きがみられる」

**需要面**では、個人消費は、持ち直しの動きが続いている。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は増加。家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;3月)は増加。投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、中国向け以外で増加。輸入額は増加。

**供給面**では、生産動向は、一進一退が続いている。大阪府(3月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(3月)は低下。全国の生産(4月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。雇用は、持ち直しの兆しがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(3月)は上昇。

**先行き**では、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。

		需要								
		消費				投資		貿易・観光		
		一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
4月		↑	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑
3月		↑	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↑

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)
4月		↑	↓	↑	↑	↑
3月		↑	↑	↓	↑	↑

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

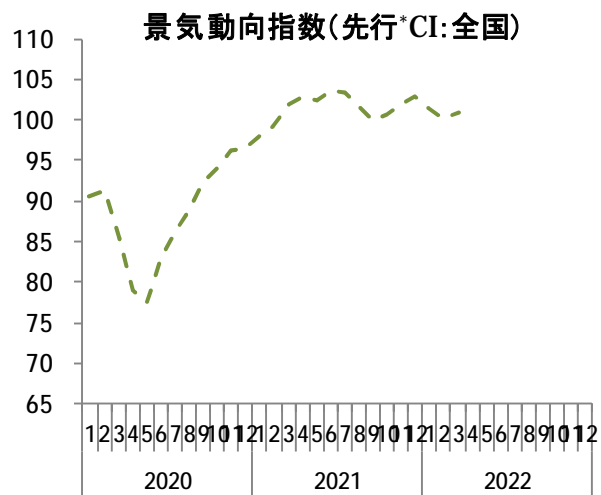
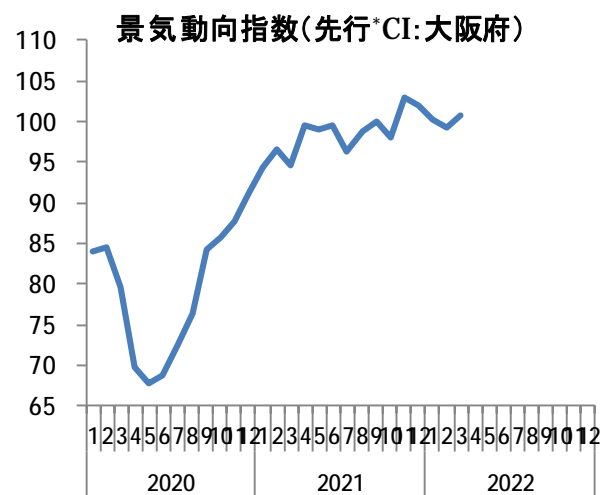
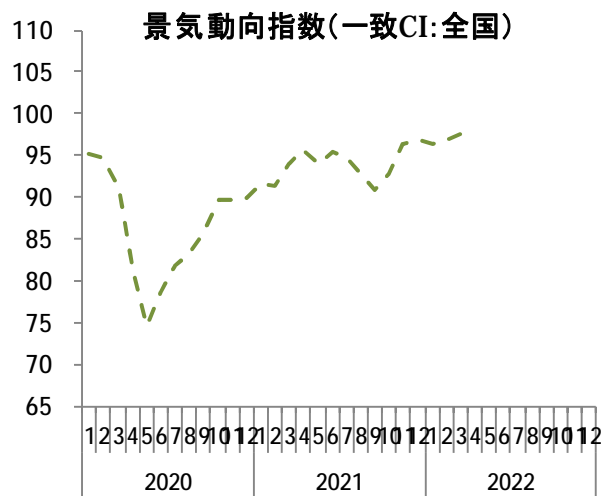
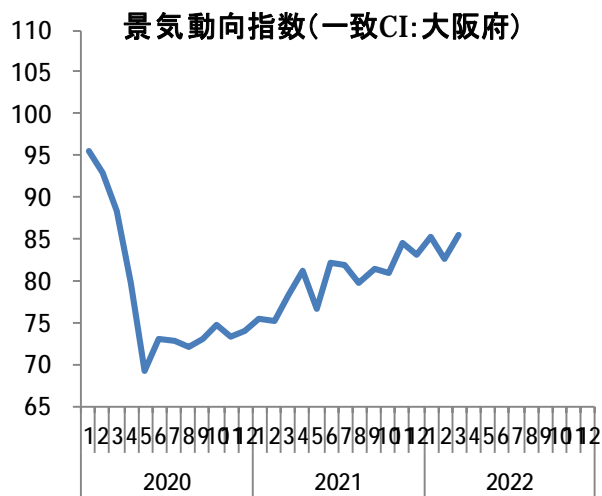
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2022年4月公表分) (2022年2月指標中心)	先月(2022年5月公表分) (2022年3月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	大阪経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が緩和されていく中で、持ち直しの動きがみられる。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中で、持ち直しの動きがみられる。	景気は、持ち直しの動きがみられる。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる。	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、全体として持ち直し基調にある。	関西の景気は、中国におけるロックダウンの影響等がみられる一方、消費への感染症の影響が和らいでいることから、全体として持ち直し基調にある。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(3月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「人件費比率(製造業)」「製造工業生産指数」が上昇に寄与。全国(3月)の一致CI、先行CIはともに上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年2月	3月	4月
先行CI	99.2	P 100.8	
一致CI	82.5	P 85.5	

	全国		
	22年2月	3月	4月
先行CI	100.1	100.8	
一致CI	96.8	97.5	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、3月速報)

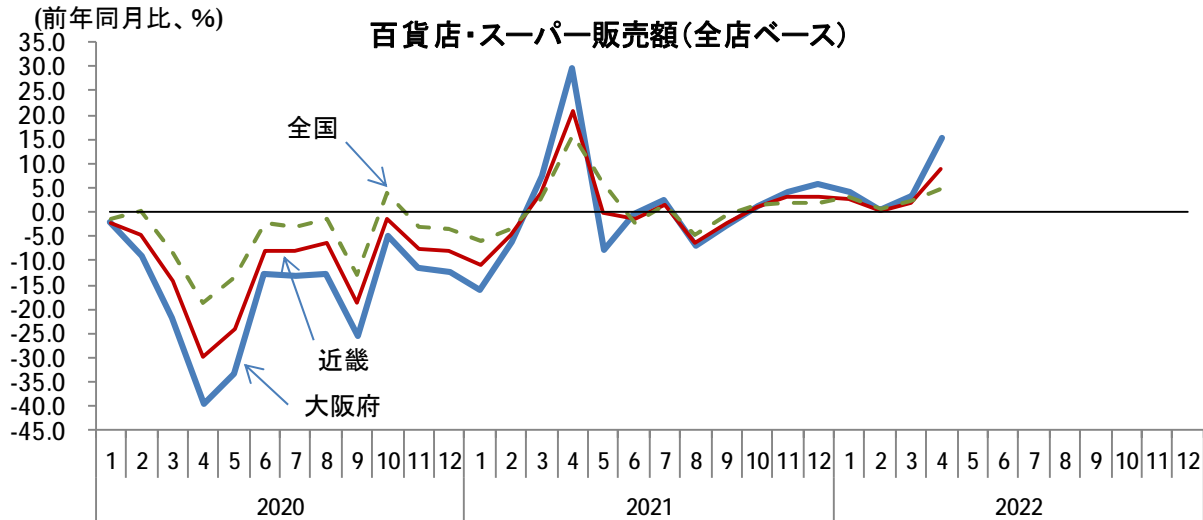
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
0.40	▲0.14	0.83	0.39	0.88	0.06	0.67

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額は増加。家電販売額、新車販売台数は減少。家計消費支出(近畿;3月)は増加。

### ○百貨店・スーパー販売額(全店)【7ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

#### 百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年2月	3月	4月
販売額(億円)	大阪府	1,203	1,394	P 1,340
前年比(%)	大阪府	0.5	3.4	P 15.4
	近畿	0.1	2.0	P 8.9
	全国	0.5	2.1	P 4.6

#### 百貨店販売額(全店)

		22年2月	3月	4月
前年比(%)	大阪府	0.7	6.0	P 41.2
	全国	▲1.8	4.2	P 18.2

#### スーパー販売額(全店)

		22年2月	3月	4月
前年比(%)	大阪府	0.3	0.9	P ▲1.9
	全国	1.2	1.3	P 0.6

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【5ヶ月連続の増加。】

		22年2月	3月	4月
販売額(億円)	大阪府	605	697	P 689
前年比(%)	大阪府	3.4	4.8	P 6.2
	近畿	0.4	2.3	P 4.4
	全国	0.6	1.7	P 2.7

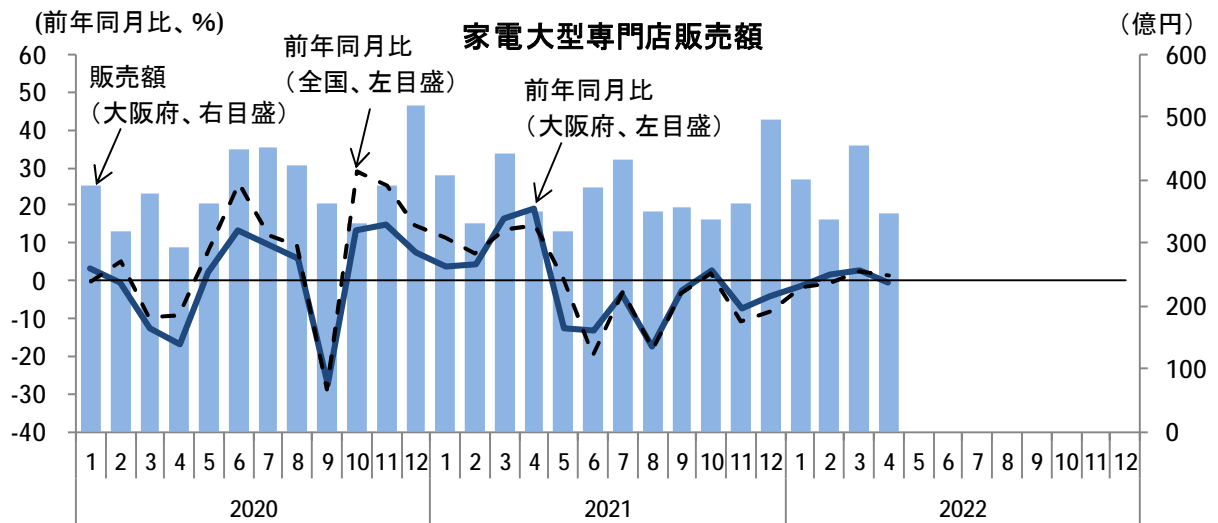
### ○家計消費支出【近畿(3月)は3ヶ月連続の増加。】

		22年2月	3月	4月
円	近畿	249,833	313,972	
前年比(%)	近畿	4.3	6.8	
	全国	2.2	▲0.8	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【前年同月比で3ヶ月ぶりの減少。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年2月	3月	4月
前年比 (%)	大阪府	1.7	2.6	P ▲0.3
	全国	▲0.8	2.6	P 1.4

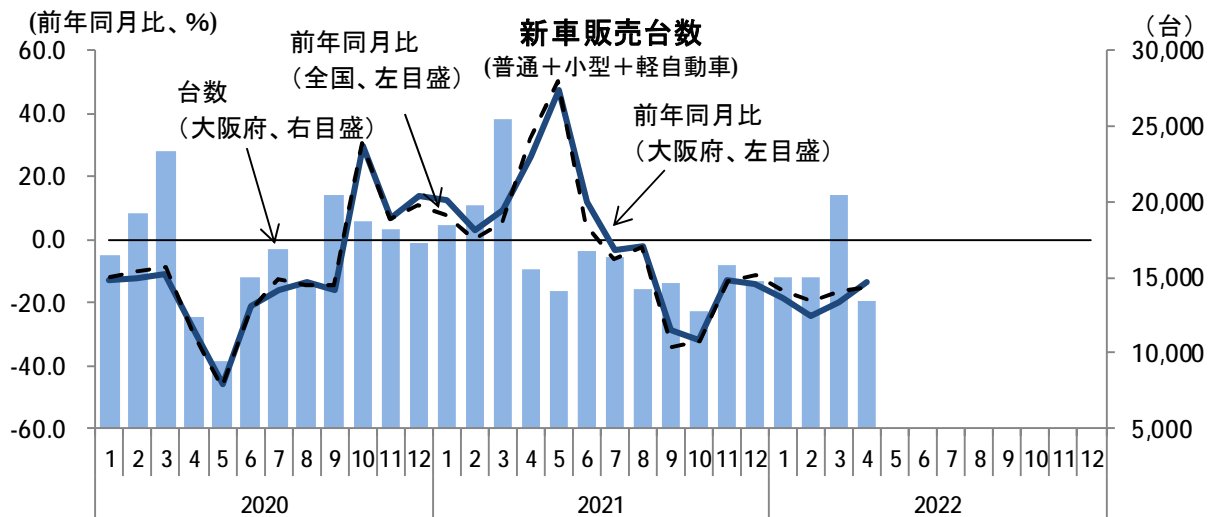
ドラッグストア販売額(全店)

		22年2月	3月	4月
前年比 (%)	大阪府	5.9	3.1	P 3.6
	全国	4.5	4.6	P 3.2

ホームセンター販売額(全店)

		22年2月	3月	4月
前年比 (%)	大阪府	▲2.6	▲1.8	P ▲1.2
	全国	▲4.1	▲2.2	P ▲1.5

### ○新車販売台数【前年同月比で10ヶ月連続の減少。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		22年2月	3月	4月
販売額(台)	大阪府	14,997	20,474	13,381
前年比 (%)	大阪府	▲24.2	▲19.6	▲13.7
	全国	▲19.9	▲16.5	▲15.3

車種別の増減

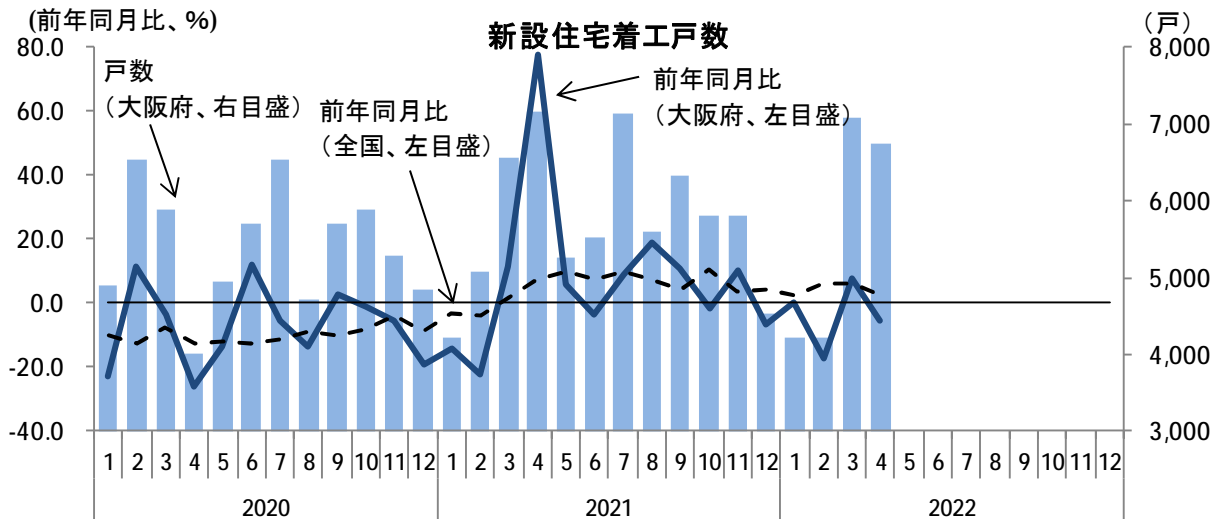
(大阪府、前年同月比(%)、4月)

普通車	小型車	軽自動車
▲9.7	▲22.4	▲11.5

## [需要] 投資

投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。

### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少。】

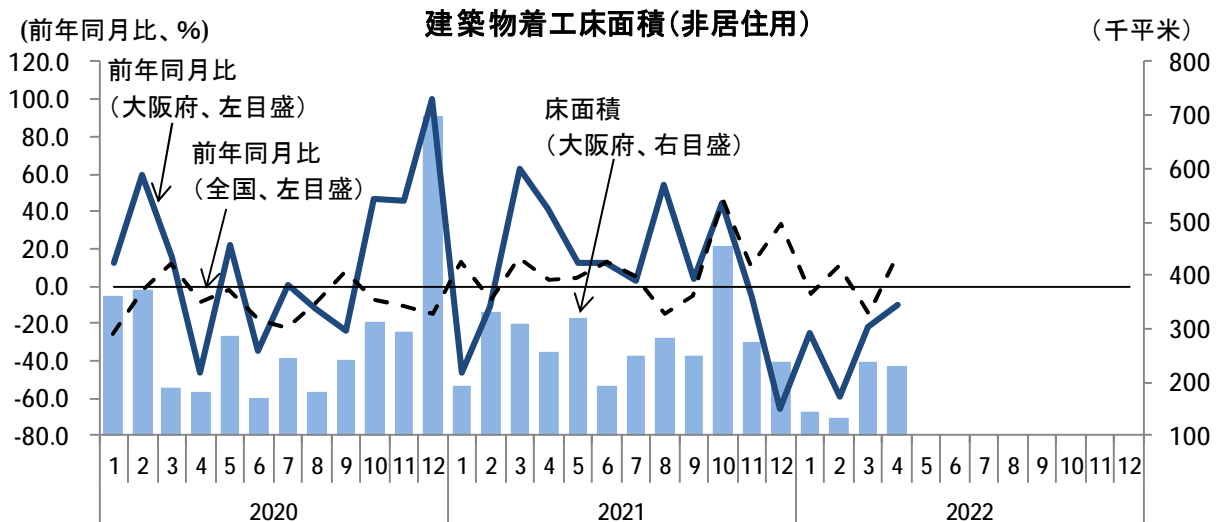


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年2月	3月	4月
戸数	大阪府	4,216	7,078	6,741
前年比 (%)	大阪府	▲17.1	7.8	▲5.7
	全国	6.3	6.0	2.2

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 4月)		
持家	貸家	分譲
▲22.1	▲2.1	▲4.5

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で6ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

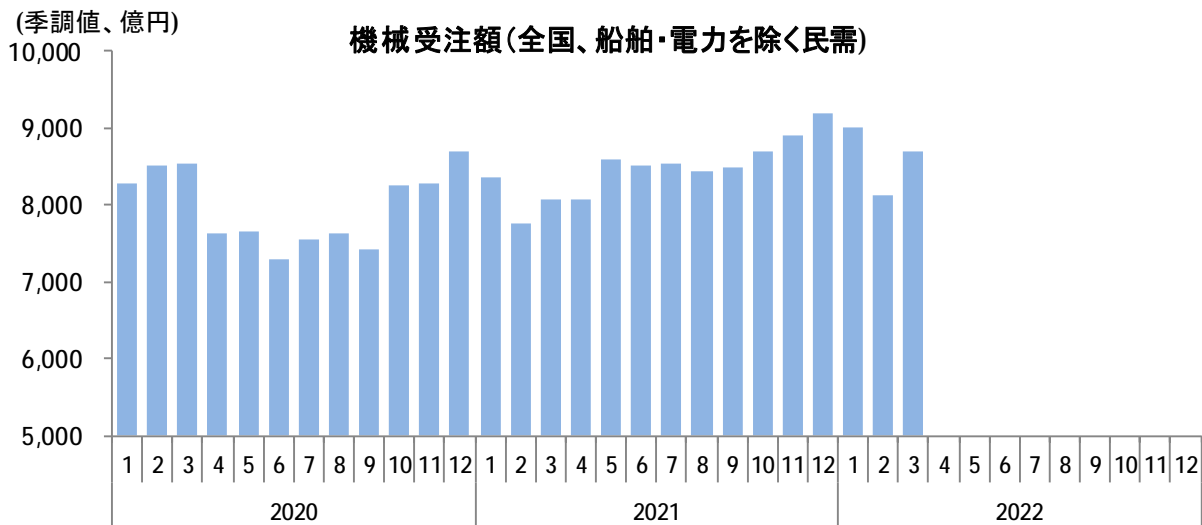
		22年2月	3月	4月
千 m <sup>2</sup>	大阪府	134	239	231
前年比 (%)	大阪府	▲59.6	▲22.3	▲10.4
	全国	11.0	▲15.1	15.6

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 4月)	
増加	—
減少	運輸業(▲30.9)、 宿泊業・飲食サービス業(▲16.5)、 卸売業・小売業(▲16.2)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## [需要] 投資

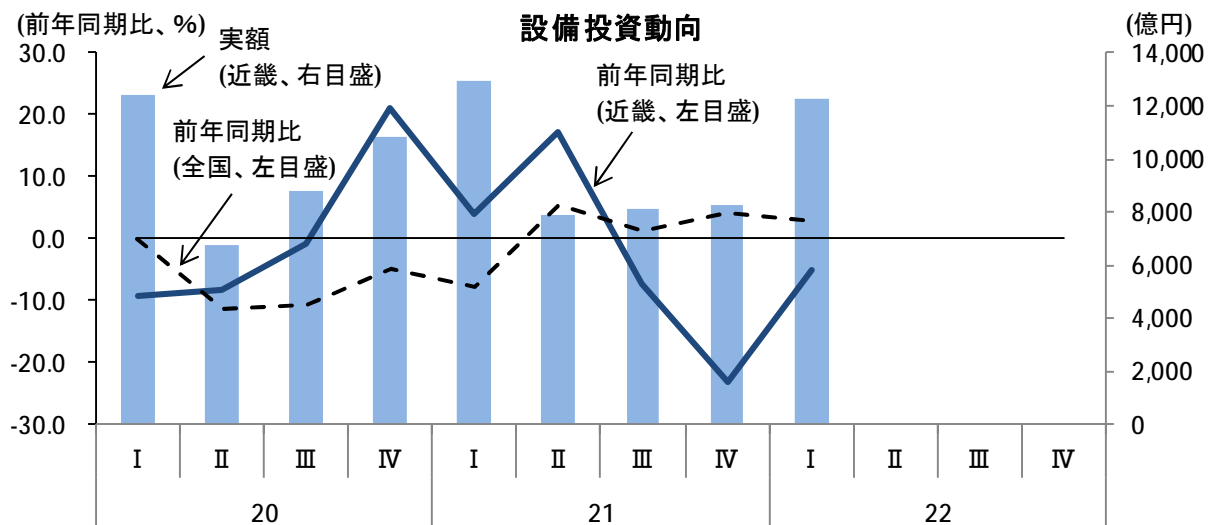
### ○機械受注額【3月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年2月	3月	4月
全国(億円)	8,114	8,695	

### ○設備投資動向【1~3月期(近畿)は前年同期比で3期連続の減少。「製造業」は増加、「非製造業」は減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		21年7~9月	10~12月	22年1~3月
億円	近畿	8,155	8,298	12,278
前年同期比(%)	近畿	▲7.2	▲23.1	▲5.0
	全国	1.2	4.3	3.0

### ○公共工事請負金額【2ヶ月連続の増加。】

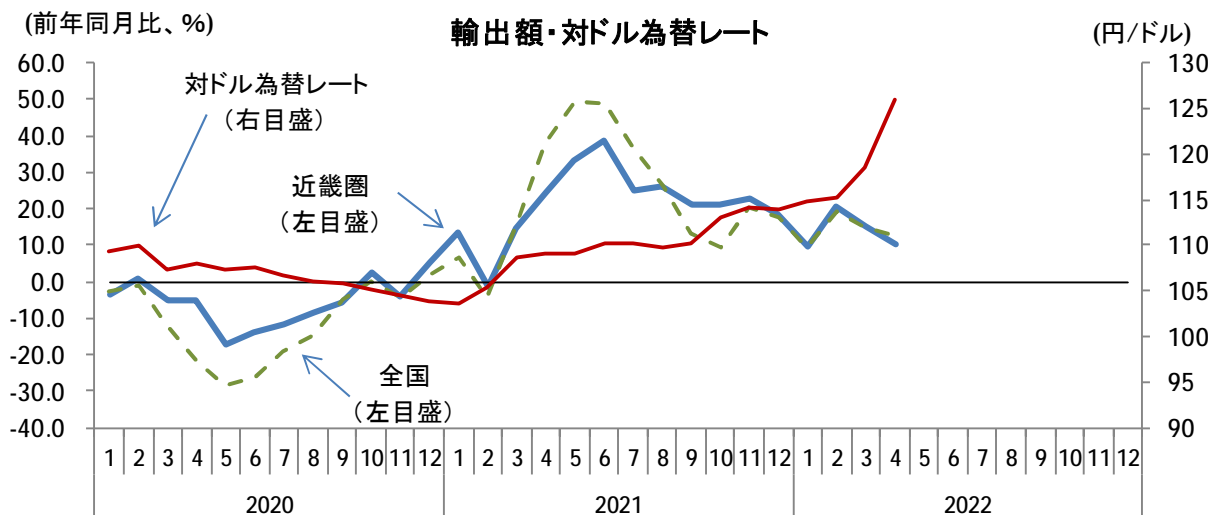
		22年2月	3月	4月
億円	大阪府	229	578	1466
前年比(%)	大阪府	▲24.8	2.4	26.7
	全国	▲9.1	▲4.3	▲4.0

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

## [需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、中国向け以外で増加。輸入額は増加。

○輸出額【14ヶ月連続の増加。「非鉄金属」、「鉱物性燃料」などが増加。主要国・地域向けでは、中国向け以外で増加。】

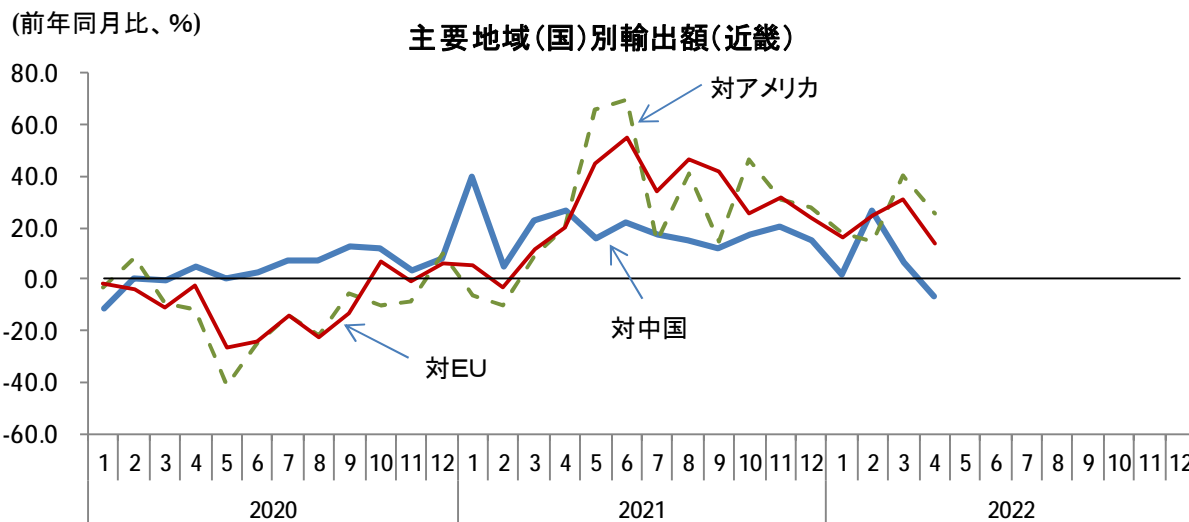


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		22年2月	3月	4月
輸出額(億円)	近畿	15,784	18,758	P 17,602
前年比 (%)	近畿	20.3	15.1	P 10.2
	全国	19.1	14.7	P 12.5
為替レート(円/ドル)		115.20	118.51	126.04

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、4月)	
増加	非鉄金属、鉱物性燃料
減少	科学光学機器、遊戯用具



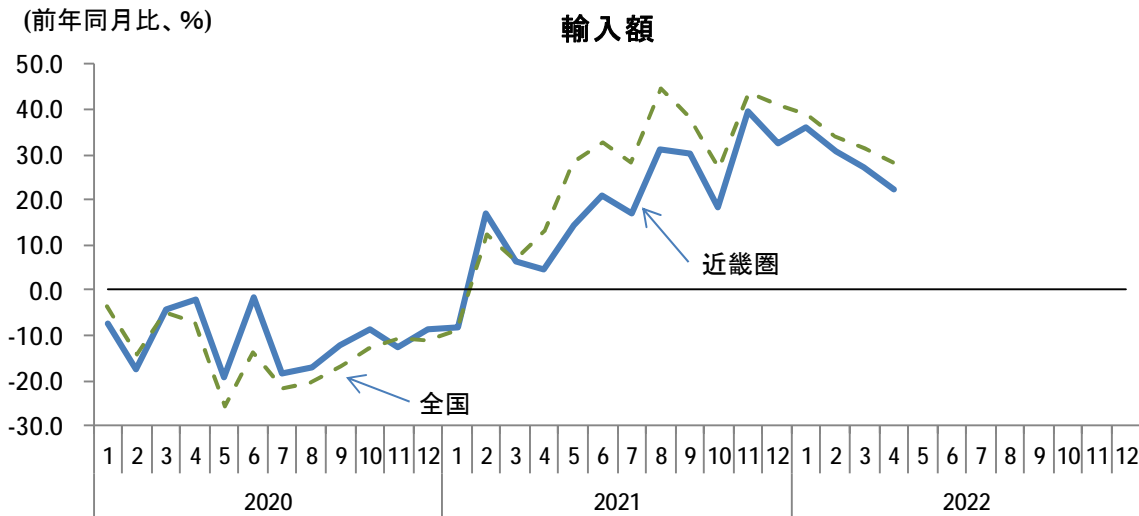
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、4月)

アジア(含む中国)	5.4	17ヶ月連続の増加
中国	▲6.8	23ヶ月ぶりの減少
ASEAN	13.9	14ヶ月連続の増加
EU	13.7	14ヶ月連続の増加
アメリカ	25.6	14ヶ月連続の増加

## [需要] 貿易・観光

### ○輸入額【15ヶ月連続の増加。「原油及び粗油」、「医薬品」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年2月	3月	4月
輸入額(億円)	近畿	14,019	P 15,945	P 15,694
前年比 (%)	近畿	30.8	P 27.1	P 22.1
	全国	34.2	P 31.2	P 28.2

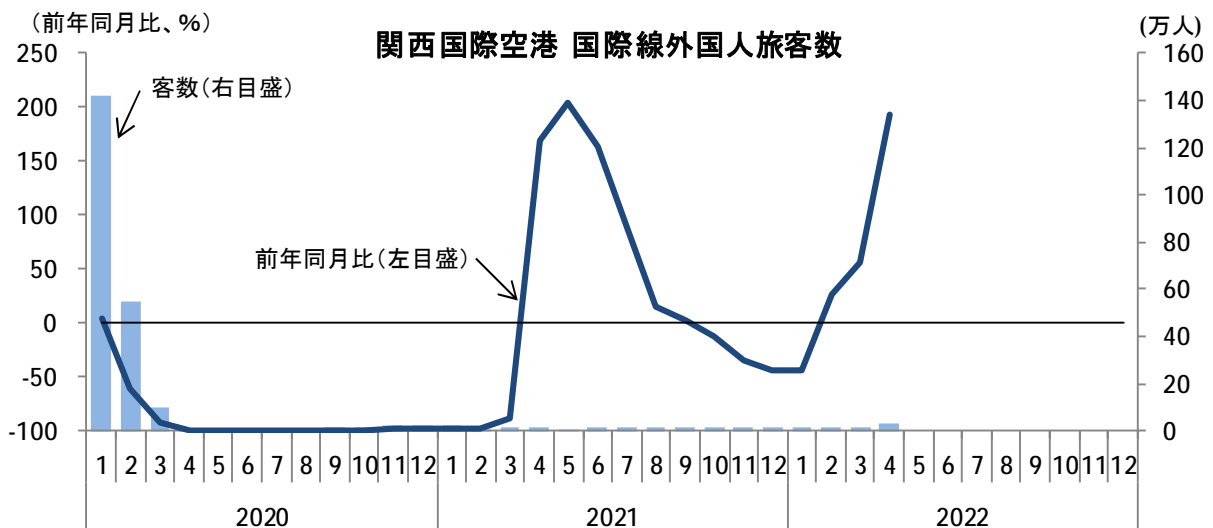
  

品目別の主な増減 (近畿、前年同月から増減額順、4月)	
増加	原油及び粗油、医薬品
減少	通信機、たばこ

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、4月

アジア(含む中国)	2.6	15ヶ月連続の増加
中国	▲6.5	11ヶ月ぶりの減少
ASEAN	17.0	15ヶ月連続の増加
EU	46.4	9ヶ月連続の増加
アメリカ	▲4.6	14ヶ月ぶりの減少

### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で3ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年2月	3月	4月
万人	1.1	P 1.7	P 3.3
前年比 (%)	27.0	P 55.4	P 192.6



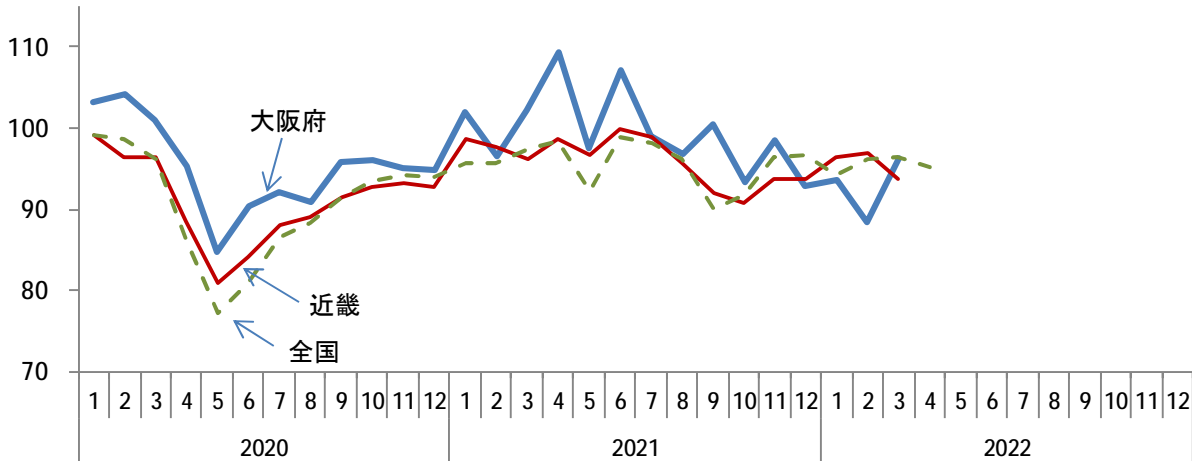
## [供給] 生産・企業活動

生産動向は、一進一退が続いている。大阪府(3月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(3月)は低下。全国の生産(4月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに改善。

○鉱工業生産指数【大阪府(3月)は2ヶ月ぶりの上昇。「化学工業」、「電気・情報通信機械工業」などが上昇。近畿(3月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。全国(4月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年2月	3月	4月
大阪府	88.4	P 96.4	
近畿	97.0	93.8	
全国	96.2	96.5	P 95.2

鉱工業出荷指数

季調済	22年2月	3月	4月
大阪府	92.0	P 96.0	
近畿	95.2	95.9	
全国	92.7	93.3	P 93.3

生産指数における産業別の主な変動

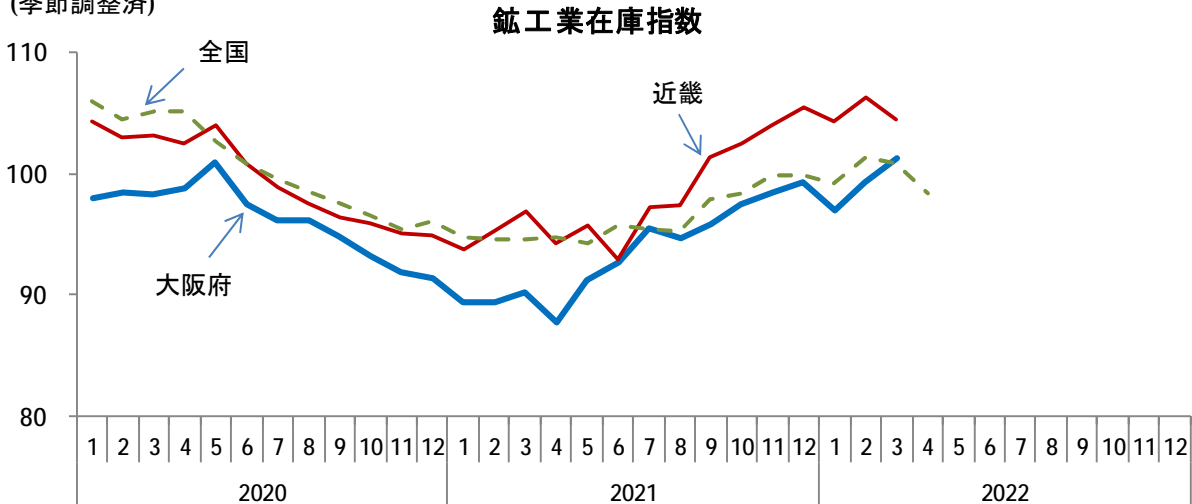
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、3月速報)

上昇	化学工業(42.1):医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械工業(13.2):アーク溶接機、セパレート形エアコン(室外)
	その他工業(9.0):ゴムベルト、ステンレス製魔法瓶
低下	輸送機械工業(▲25.0):鉄道車両部品、鉄道車両
	電子部品・デバイス工業(▲30.5):アクティブ型液晶パネル
	金属製品工業(▲2.4):橋りょう、飲料用アルミニウム缶

## [供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(3月)は2ヶ月連続の上昇。「電気・情報通信機械工業」、「生産用機械工業」などが上昇。近畿(3月)は2ヶ月ぶりの低下。全国(4月)は2ヶ月連続の低下。】**

(季節調整済)



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

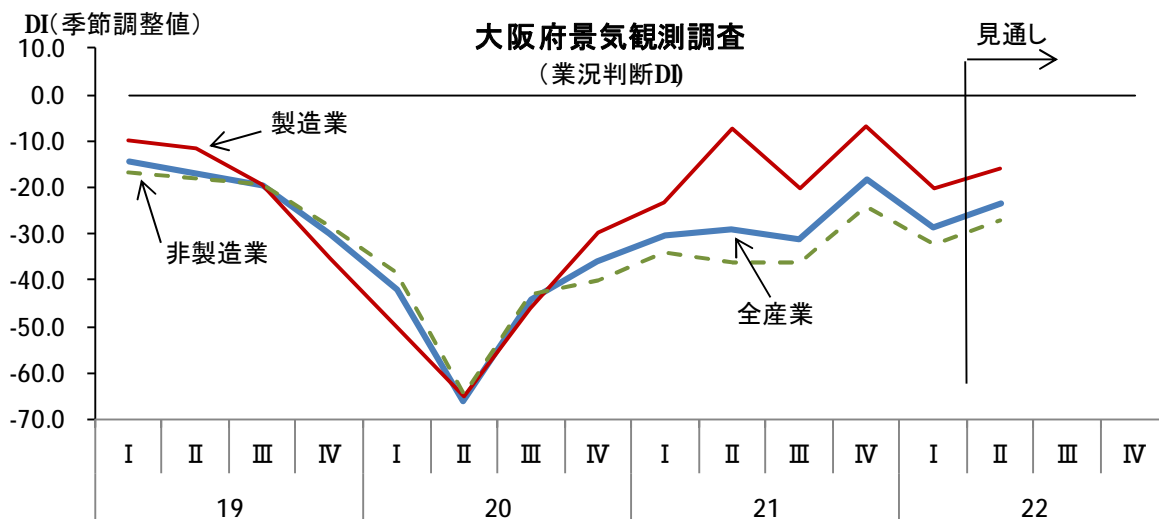
鉱工業在庫指数

季調済	22年2月	3月	4月
大阪府	99.2	P 101.2	
近畿	106.2	104.4	
全国	101.3	100.9	P 98.4

在庫指数における産業別の主な変動  
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、3月速報)

上昇	電気・情報通信機械工業(16.3): 蛍光灯、LED器具(除、自動車用)
	生産用機械工業(17.0): ショベル系掘削機械
低下	鉄鋼・非鉄金属工業(▲2.1): 鉄鋼切断品、銅荒引線
	化学工業(▲2.4): アンモニア、フェノール

○**企業の業況判断【1~3月期(全産業)は2期ぶりの悪化。】**

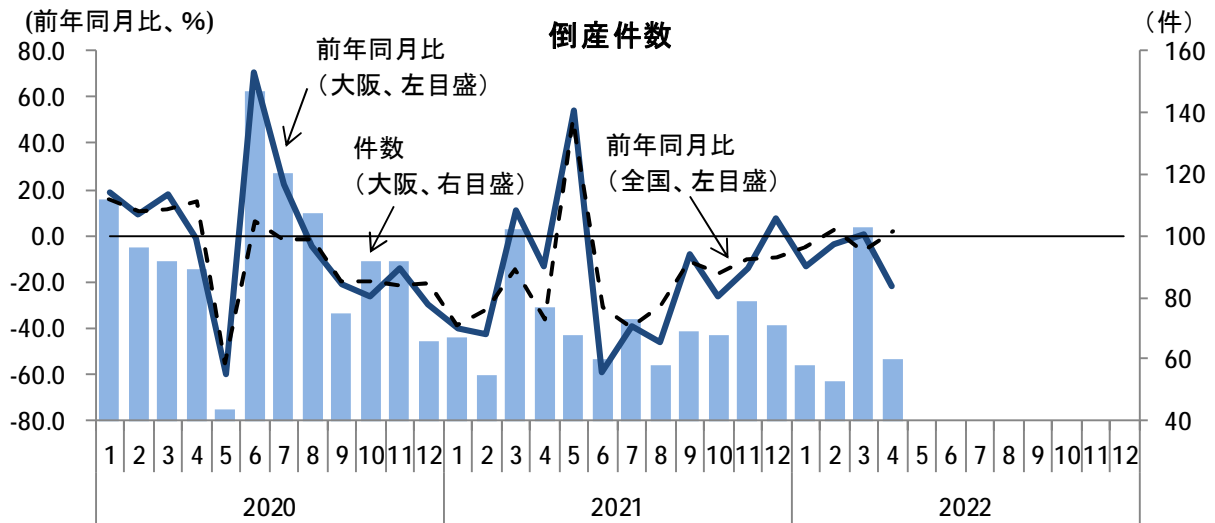


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	21年 7~9月	10~12月	22年 1~3月	4~6月 (見込み)
製造業	▲20.2	▲6.8	▲20.1	▲16.1
非製造業	▲36.3	▲24.3	▲32.3	▲27.0
全産業	▲31.3	▲18.1	▲28.6	▲23.5

## [供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月ぶりの減少(改善)、負債金額は前年同月比で3ヶ月ぶりの減少(改善)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年2月	3月	4月
件	大阪府	53	103	60
前年比 (%)	大阪府	▲3.6	0.9	▲22.0
	全国	2.9	▲6.4	1.8

負債金額

		22年2月	3月	4月
億円	大阪府	69	95	40
前年比 (%)	大阪府	136.9	6.4	▲63.5
	全国	5.1	19.9	▲3.3

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年2月	3月	4月
建設業	7	17	14
製造業	5	3	4
卸売業	6	21	7
小売業	4	12	5
サービス業他	21	30	21

主な倒産(大阪府、4月)

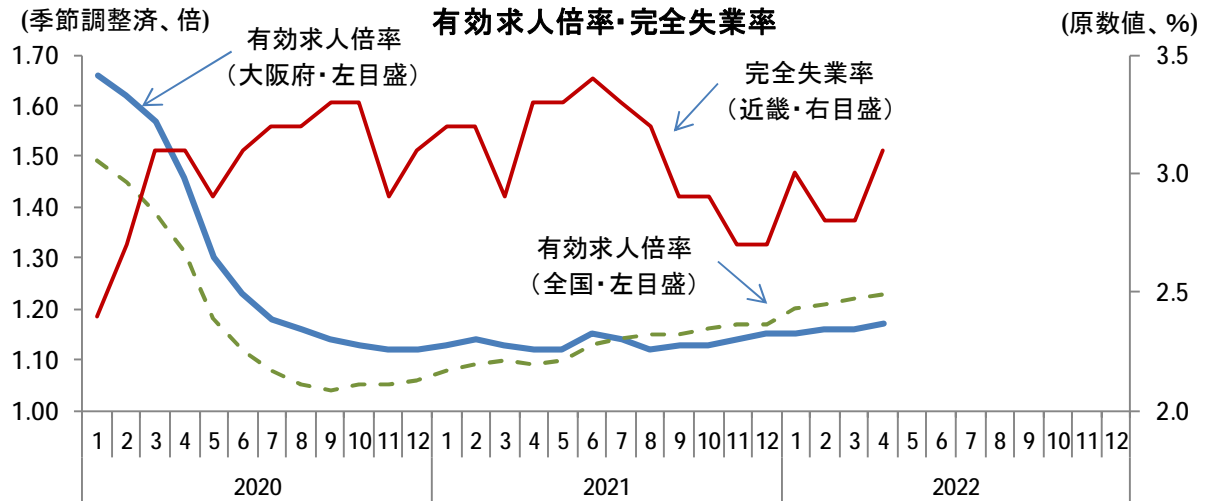
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
一般貨物自動車運送業	1,866	設備投資過大

## [供給] 雇用

雇用は、持ち直しの兆しがみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(3月)は上昇。

### ○完全失業率【近畿は前年比で8ヶ月連続の改善】

有効求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの上昇】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年2月	3月	4月
%	2.8	2.8	3.1
前年同月差	▲0.4	▲0.1	▲0.2

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年2月	3月	4月
%	2.7	2.6	2.5
前月差	▲0.1	▲0.1	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	21年7~9月	10~12月	22年1~3月
大阪府	3.6	2.9	2.9
近畿	3.1	2.8	2.8
全国	2.8	2.6	2.7

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年2月	3月	4月
大阪府	1.16	1.16	1.17
全国	1.21	1.22	1.23

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年2月	3月	4月
大阪府	2.37	2.42	2.40
全国	2.21	2.16	2.19

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減  
(大阪府、前年同月比(%))

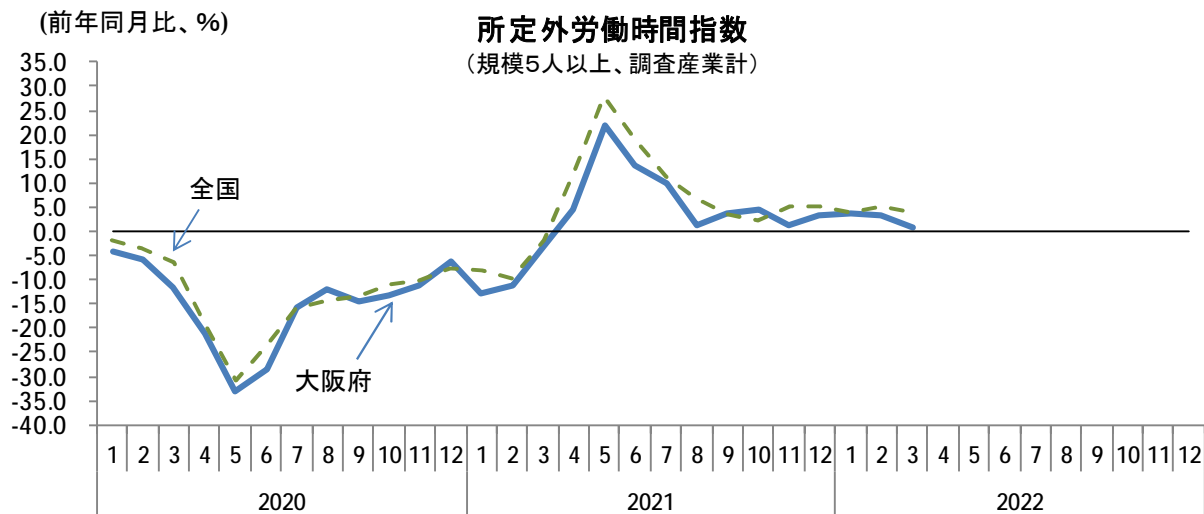
	22年2月	3月	4月
産業計	4.1	7.0	11.2
建設業	▲0.1	0.8	▲5.3
製造業	21.8	15.4	20.0
卸売業、小売業	▲3.0	2.4	2.3
宿泊業、 飲食サービス業	20.4	3.4	39.4
医療、福祉	▲3.0	5.5	2.3

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用

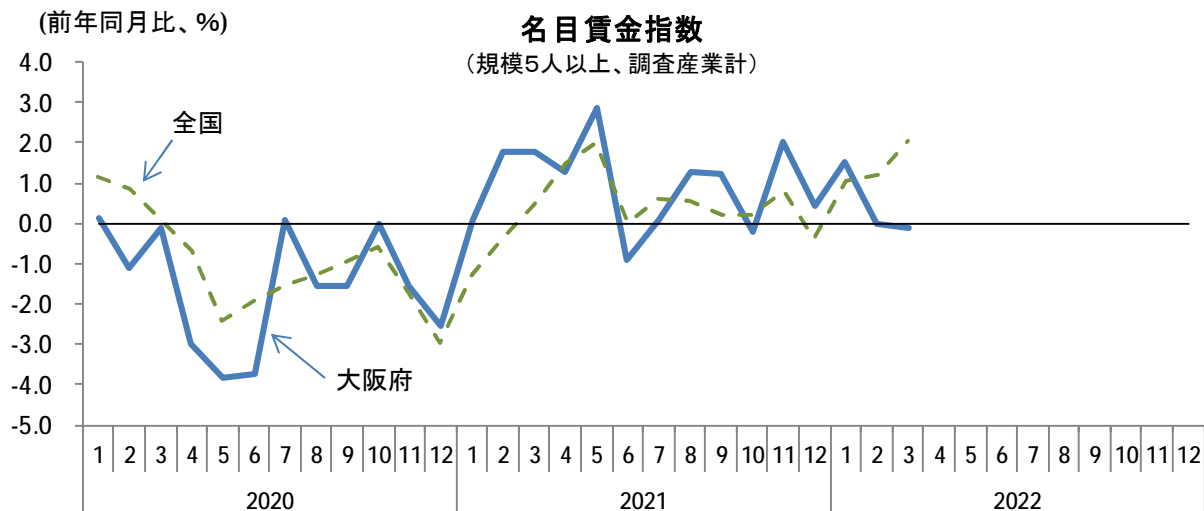
### ○所定外労働時間指数【大阪府(3月)は12ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		22年2月	3月	4月
指数	大阪府	103.5	108.2	
前年比 (%)	大阪府	3.2	0.8	
	全国	5.1	3.8	

### ○名目賃金指数【大阪府(3月)は前年同月比で5ヶ月ぶりの低下。】

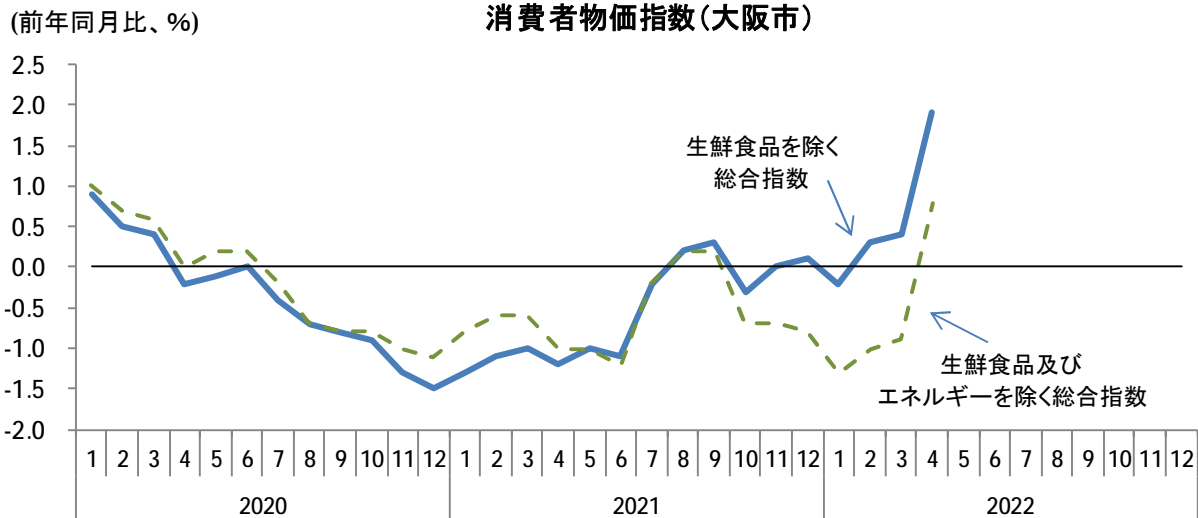


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

		22年2月	3月	4月
現金給与総額(円)	大阪府	275,366	293,530	
前年比 (%)	大阪府	0.0	▲0.1	
	全国	1.2	2.0	

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は3ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は7ヶ月ぶりの上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

#### 総合指数

		22年2月	3月	4月
指数	大阪市	100.3	100.6	P 101.0
前年比 (%)	大阪市	0.7	0.8	P 2.4
	全国	0.9	1.2	2.5

#### 生鮮食品を除く総合指数

		22年2月	3月	4月
指数	大阪市	100.2	100.5	P 100.8
前年比 (%)	大阪市	0.3	0.4	P 1.9
	全国	0.6	0.8	2.1

#### 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		22年2月	3月	4月
指数	大阪市	99.3	99.5	P 99.8
前年比 (%)	大阪市	▲1.0	▲0.9	P 0.8
	全国	▲1.0	▲0.7	0.8

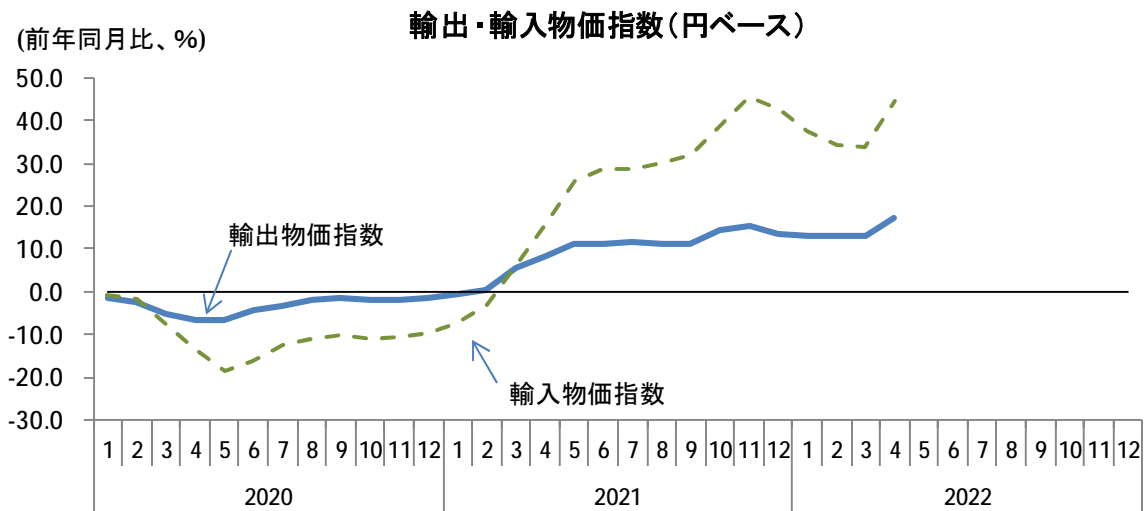
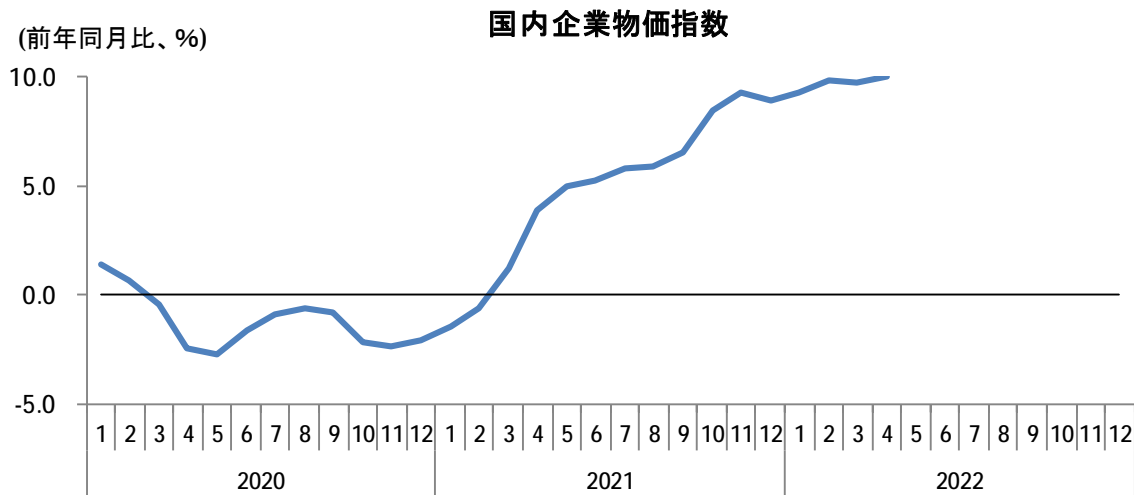
#### 総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、4月速報)

上昇	食料(4.4): 果物(りんご、オレンジ、しらぬひ)、魚介類(あじ、あさり、塩さけ)
	光熱・水道(14.3): 他の光熱(灯油)、ガス代(都市ガス代、プロパンガス)
低下	交通・通信(▲2.8): 通信(通信料(携帯電話))

## [その他] 物価

### ○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は 2015 年=100。

#### 企業物価指数

	22年2月	3月	4月
国内企業物価指数	111.2	112.2	P 113.5
輸出物価指数	104.7	107.9	P 113.9
輸入物価指数	122.6	127.0	P 140.7

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2015年=100。

#### 国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(4月速報、寄与度(%))

上 昇	石油・石炭製品 (0.37) : ナフサ、C重油、石炭コークス
	鉄鋼 (0.24) : 鉄鋼切断品(薄板)、フェロマンガ、溶融亜鉛めっき鋼板
低 下	非鉄金属 (0.15) : 銅地金、アルミニウム合金・同二次合金地金、電力・通信用メタルケーブル
	化学製品 (▲0.08) : 触媒、循環器官用薬、中枢神経系用薬